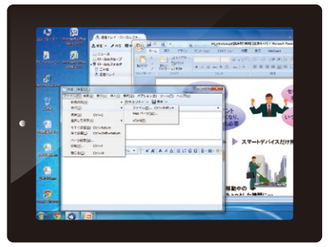
スマートデバイスでの利用の流れと画面イメージ（接続操作の画面はiPhoneでの例です）

①DesktopDirectのアプリをタップします。

②接続先のアカウントをタップします。

③ログインパスワードを入力します。

④接続先PCのアイコンをタップします。



⑤接続先PCの画面が、iPadやAndroid搭載端末のディスプレイにそのまま表示され、リモートから操作することができます。

ハードウェアプラットフォーム仕様

機種名	ArrayAG1000	ArrayAG1100	ArrayAG1150	ArrayAG1200	ArrayAG1500	ArrayAG1600
標準同時接続ユーザー数	25/50/100	100	300	500	1,000	2,500
最大同時接続ユーザー数	300	3,000	10,000	25,000	72,000	128,000
登録可能ユーザー数	10,000	200,000			500,000	
スループット	100 Mbps	400 Mbps		800 Mbps	1,600 Mbps	3,200 Mbps
標準仮想ポータル数	5					
最大仮想ポータル数	10	50	256			
冗長化構成	○					
ネットワークI/F	10/100/1000×4	標準構成：10/100/1000×4 オプション：1GbE Fiber×2 （工場出荷時オプション）			標準構成：10/100/1000×4 オプション：1GbE Fiber×4 10GbE Fiber×2 （工場出荷時オプション）	
外部認証サーバ連携	LDAP , Radius , SecurID , ActiveDirectory , SecureMatrix など					
コンソールポート	DB9-Serial					
電源仕様	100 VAC 、47~63 Hz 自動					
冗長化電源ユニット	N/A	工場出荷時オプション			標準装備	
外形寸法 (mm) W×D×H	432×381×44	標準電源：432×381×44			432×572×88	
		冗長化電源：432×505×44				
重量	6.2kg	標準電源：6.2 kg			12.7 kg	
		冗長化電源：7.8 kg				
動作温度	0~45 ℃					
動作湿度	0~90 %（結露しないこと）					

※上記はArrayOS AG9.2搭載時のものです。製品仕様は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

■開発元

Array NETWORKS

※Array Networksは、Array Networks Inc.の登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp

本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/array/sp/

S11S-31-03 | 2013.10

Array NETWORKS

HITACHI
Inspire the Next

スマートデバイス対応 セキュアリモートデスクトップ

Array DesktopDirect™

アレイ デスクトップダイレクト

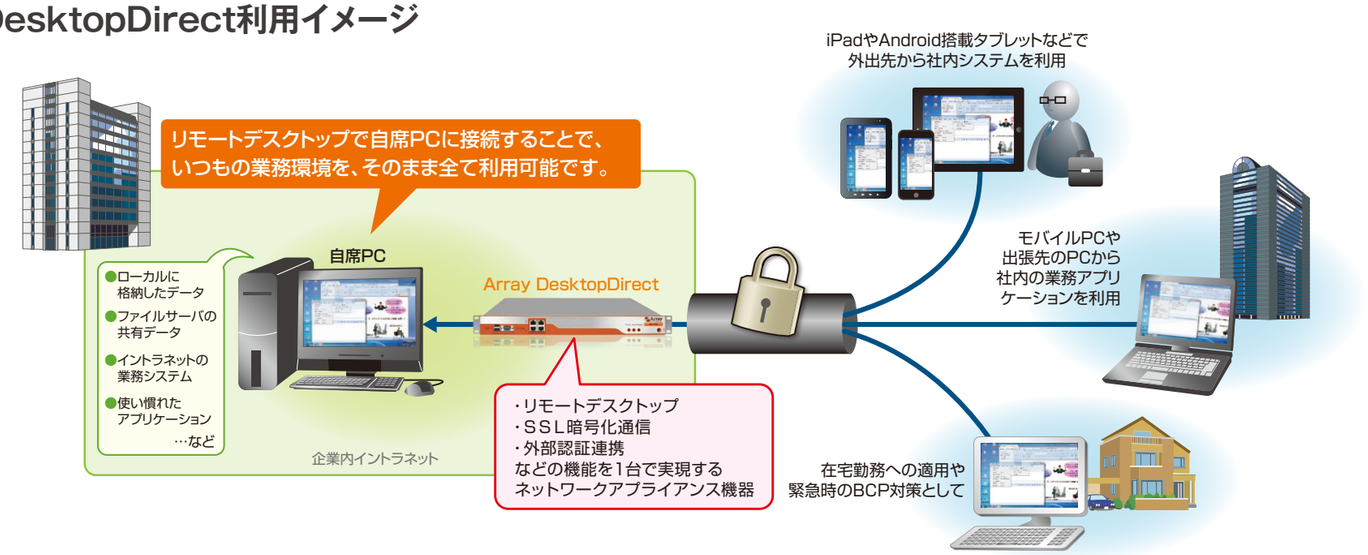
株式会社 日立ソリューションズ

オフィスのパソコンを、いつでも、どこでも、利用可能に。
ビジネスで使えるセキュリティを備えたリモートデスクトップソリューションです。

リモートデスクトップをもっとスマートに。もっと効率的に。

PCはもちろん、スマートフォンやタブレット端末からも、セキュアなリモートデスクトップ環境を実現。
多様なビジネススタイルへの適用、節電やBCP対策機能により、ビジネスを効率的に推進します。

DesktopDirect利用イメージ



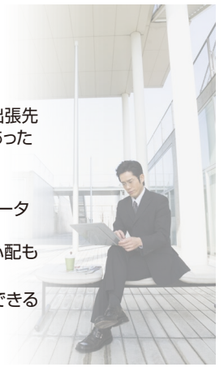
DesktopDirect活用例

日々の外出先で

■出張や外出が多い営業担当者に

導入前
- ●業務データや各種資料をモバイルPCに入れて、外出先や出張先で業務を行っていたため、情報漏洩の危険性が高い状態にあった
- ●営業員全員が持出し用PCを持つと膨大なコストがかかる

導入後
- ●リモートデスクトップで自席PCの環境をモバイルPCにデータを残さず、いつでも利用できます。
  また通信もSSLにより暗号化されているため、"盗聴"の心配もなく安全に利用できます。
- ●スマートデバイスからもスピーディに自席PCにアクセスできるので、全員がモバイルPCを用意する必要はありません。
  BYODの導入でさらにコスト削減も可能です。



自宅などで

■在宅勤務やBCP対策に

導入前
- ●育児や介護等の事情で在宅勤務を希望する従業員に、オフィスと同様の仕事環境を提供できていなかった
- ●自然災害や交通遮断等により、出社することが困難になった場合、業務が完全にストップしてしまう状況だった

導入後
- ●従業員の自宅PCから、社内の自席PCへ安全にリモートデスクトップができ、オフィスと同じPC環境をすぐに提供できます。更に個体識別認証も可能で"なりすまし"を防止します。
- ●社内PCに予めソフトウェア等をインストールすることなく、すぐに利用でき、使い慣れた環境で業務をどこからでも継続することができます。更にリモート電源管理機能や、BCP専用ライセンスで企業のBCP対策を強力にバックアップします。

様々な現場で

■サービス業の現場など、PCがない場所で

【設計現場での図面確認や変更指示など】
- ●リモートデスクトップにより、図面や設計データを持ち歩かずに済み、情報漏洩を防止します。
- ●モバイル向けに新たなシステムを開発することなく、既存のシステムをそのままリモートから利用できます。

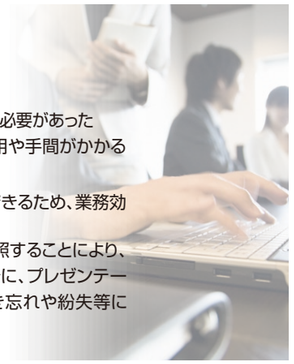
【医療現場で"ベッドサイド診療"に】
- ●医局PCにアクセスして電子カルテや医療システムを閲覧できるため、ベッドサイドでスマートデバイスを用いて患者への効果的な説明が可能です。
- ●医療機器への影響から3G回線による通信が制限されている場所でも、Wi-Fi通信を利用して接続することができます。

オフィス内の会議で

■オフィスでのサブPCとして

導入前
- ●資料やメールを確認するために会議中に席に戻る必要があった
- ●会議資料をコピーして人数分配布するため、費用や手間がかかる

導入後
- ●社内の様々な場所から自席PCをリモート操作できるため、業務効率の向上が見込めます。
- ●スマートデバイスを用いて資料やデモ画面を参照することにより、ペーパーレス会議を実現し、紙資料を配布せずに、プレゼンテーションや会議が行えます。さらに、紙資料の置き忘れや紛失等による情報漏洩を防止します。



DesktopDirectの特長

多様なデバイスに対応

●様々なデバイスからアクセス可能

iPadからも、iPhoneからも、Android搭載端末からも接続できます

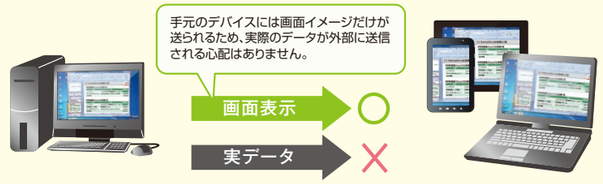
パソコンからはもちろん、iPad/iPhoneやAndroid搭載タブレット/スマートフォン等、多様なデバイスからの接続に、この1台のみで対応可能です。デバイスの種類ごとに異なる仕組みを導入する必要がありません。

安心のセキュリティ

●情報漏洩防止

画面情報のみ転送され、実データは送受信されません

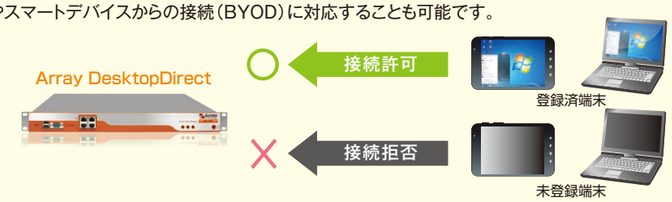
オフィスの自席PCとリモートデバイスとの間は、キー入力操作と画面転送のみが行われ、実際のデータが送受信されることはありません。そのため、重要なデータを持ち出すことなく利用でき、情報漏洩を防止できます。



●個体識別認証機能

登録した端末からのみ接続を許可します

アクセス元となるクライアント端末の固有IDをチェックし、DesktopDirectに登録している端末からの接続のみを許可することができます。ユーザIDの盗難による"なりすまし"を防ぐとともに、個人所有のPCやスマートデバイスからの接続（BYOD）に対応することも可能です。



※BYOD（Bring Your Own Device）：私的デバイスの業務活用

●セキュアな通信環境

安全な通信環境を提供します

SSL暗号化技術を使用し、通信を強固に暗号化することでセキュアにリモートデスクトップを利用できます。

BCPや節電への対応

●リモートから自席PCの電源をON

BCP対策や節電には必須の機能です

緊急時などにオフィスの自席PCが停止していても、WoLを使用しリモート接続時に電源を投入することができます。また、待機時には自席PCの電源を切断しておけるので、BCPに備えた環境を導入しつつ、節電により環境負荷を抑えることができます。

※WoL（Wake on LAN）：PCの遠隔電源操作技術

●緊急時に接続可能ユーザ数を拡張

BCP対策の導入コストを抑えます

もしもの災害時などに備え、一時的に利用者数を拡大するためのライセンスをご用意。一定期間のみ有効な接続ライセンスを、通常の接続ライセンスよりも安価にご提供いたします。BCP対策として普段は使わない緊急時のリモートアクセス手段を、初期コストを抑えて導入できます。

※BCP（Business Continuity Plan）：事業継続計画